

社団法人日本精神保健福祉士協会
2012年度事業報告
(自：2012年4月1日 至：2013年3月31日)

<2012年度事業の総括>

2012年度に取り組んだ事業に係る全般的な総括は、次のとおりである。

1. 公益社団法人への移行のために、本協会に公益社団法人移行プロジェクトを設置し、各種事務作業を行った。2012年10月28日に臨時総会を開催し、法人移行後の定款等の承認を受け、2012年11月30日に内閣総理大臣に公益社団法人への移行認定申請を行った。その結果、本協会は2013年3月28日に認定され、2013年4月1日に公益社団法人に移行することとなった。
2. 2011年3月12日に設置した「東日本大震災対策本部」の活動を継承し、継続的な支援活動を展開すべく、2012年4月1日に新たに「東日本大震災復興支援本部」を設置し、支援活動に係る募金の呼びかけ、みやぎ心のケアセンターの短期支援者としての構成員の派遣、被災地と全国の精神保健福祉士を結ぶ「東北復興PSWにゆうす」の発行、被災地に訪問し現地の精神保健福祉士と交流する「ほっとミーティング」等を実施した。
3. 「精神保健福祉士としての専門的機能の充実強化」「人材育成」「組織基盤の強化」を柱として諸事業に取り組むべく、地域生活支援や組織の強化に向けて、部及び委員会の体制を再構築するとともに、委員会相互の連携強化に努めた。
4. 組織内の情報伝達と共有、並びに組織課題等に関する意見交換の場として、都道府県支部長会議とブロック内支部代議員・支部長・ブロック選出理事会議（以下「ブロック会議」という。）を開催した。
5. 精神保健福祉士養成カリキュラム等の改正に伴う「精神保健福祉士実習指導者講習会」（平成24年度精神保健福祉士養成担当職員研修事業）について、2012年度も本協会が事業受託し全国12か所で実施した。これにより、本講習会修了者は3か年で3,678人（2012年度は1,156人）となった。
6. 精神保健医療福祉の制度改革の動向に関連して、積極的に要望活動等を展開した。また、生活保護制度をめぐる動向に関連して、重ねて本協会の見解等を公表した。
7. 構成員の入会促進に関しては、当初目標としていた1,100人に到達することができなかった。今後は、公益社団法人としての組織基盤強化の観点から、具体的戦略に基づく取り組みが課題となる。

以下、定款第3条の「本協会は、精神保健福祉士の資質の向上を図るとともに、精神保健福祉士に関する普及啓発等の事業を行い、精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進めることにより、国民の精神保健福祉の増進に寄与することを目的とする」を達成するため、定款第4条に基づき、次の具体的事業に取り組んだ。

<定款第4条に基づく事業>

1. 精神障害者等の精神保健福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護に関する事業

1) 社会的入院の解消に向けた具体的な取り組み

精神障害者の地域移行を推進することを目的に、前年度の「精神保健医療福祉委員会・事例集」の活用方法の検討とともに、先進地の報告（聞き取り調査）、個別支援ガイドライン、各地域のパンフレットの比較・検討、ツールの雛形集等の作成に向けた準備を進めた。

2) 精神障害者の権利侵害に関する事例の収集分析と施策提言

某県の当事者が利用施設から権利侵害を受けたとする事例をパイロットケースとして、事業所と当事者の聴き取りを行い、当該事業所及び県の障害保健部署に本協会として意見を伝えた。

3) 精神障害者の権利擁護に関する研修プログラムの開発

2013年7月に開催予定の権利擁護に関する啓発活動（シンポジウム等）の企画について検討した。

4) 高齢精神障害者問題の課題整理

65歳以上・5年以上の在院者を中心とした高齢精神障害者と認知症高齢者の問題について、それぞれ課題整理を行い、精神保健福祉士を対象とした調査実施に向けた準備を進めた。

5) 精神保健医療福祉の制度改革に関連した取り組み

(1) 精神保健医療福祉領域における入院制度や精神病床の人員配置等に関する課題整理及び要望活動等

- 「精神科医療の機能分化と質の向上等に関する検討会」団体ヒアリング、「精神病床における精神保健福祉士の人員配置に係る意見」（2012年4月25日）
- 「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」団体ヒアリング、『『保護者制度・入院制度』に関する意見（2012年4月27日）
- 厚生労働省宛て、「精神障害者地域移行・地域定着支援事業の継続に係る要望等について（お願い）」提出（2012年8月17日）
- 「新たな入院制度に関する本協会の見解」公表（2012年10月29日）
- 厚生労働省宛「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に関する要望書」提出（2013年1月23日）
- 自由民主党及び公明党宛「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に関する意見」提出（2013年2月21日及び3月1日）

(2) 生活保護制度、生活困窮者支援及び障害者制度等に関する要望活動等

- 「生活保護を巡る動向について～構成員の皆さまへ～」公表（2012年5月31日）
- 「生活保護制度を巡るこの間の動向に関する見解—国民の健康で文化的な最低限度の生活を保障する生活保護制度の堅持を—」公表（2012年7月2日）
- 「生活保護基準の引き下げに断固反対する～国民の健康で文化的な最低限度の生活保障の堅持を～」公表（2012年10月31日）
- 厚生労働大臣宛「生活保護基準の引き下げの見直しについて（要望）」提出（2012年11月1日）
- 内閣府宛「障害を理由とする差別を禁止する法制に関する意見」発出（2012年11月5日）
- 厚生労働省及び社会保障審議会生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会長宛「生活困窮者および生活保護受給者への支援について（見解）」提出（2012年11月22日）
- 「社会保障政策に係る各政党の政権公約に関する見解」公表（2012年12月10日）

(3) その他の見解等

- 株式会社プレジデント社宛「雑誌『プレジデント』2012年7月16日号掲載の『編集長から』に抗議します」提出（2012年7月20日）
- 「成年被後見人の選挙権を剥奪する公職選挙法第11条1項1号を違憲無効とした東京地方裁判所判決に対する会長声明」公表（2013年3月25日）
- 「成年被後見人選挙権に関する訴訟判決への政府控訴に強く抗議します！」公表（2013年3月29日）

6) 認定成年後見人ネットワーク「クローバー」の運営

(1) 認定成年後見人ネットワーク「クローバー」の運営活動

本協会が設置する認定成年後見人ネットワーク「クローバー」を主体として、候補者名簿登録者からの成年後見人等の紹介や受任した成年後見人等への支援等の具体的な事業を実施するとともに、クローバー登録者に受講を義務づけているクローバー登録者継続研修を実施した。また、クローバー登録者の後見等受任に関する細則の改訂を行った。加えて、昨年度に引き続き、本協会ウェブサイト内にある「クローバー」コーナーを通じて、クローバーNEWS（年4回）を公表し、活動状況を報告するなど情報周知に努めた。

<登録・受任状況>

（登録者数）80人（ブロック内内訳／北海道5人、東北1人、関東・信越30人、東海・

北陸 11 人、近畿 8 人、中国 4 人、四国 4 人、九州・沖縄 17 人)
(受任件数) 31 件 (北海道 2、埼玉 1、千葉 1、東京 15、神奈川 1、岐阜 1、愛媛 1、福岡 6、熊本 3)

(相談件数) 55 件

<クローバーNEWS>

第 1 号：2012 年 8 月発行 第 2 号：2012 年 10 月発行 第 3 号：2012 年 12 月発行
第 4 号：2012 年 3 月発行

(2) 「認定成年後見人養成研修」等への協力

研修センターにて実施される「認定成年後見人養成研修」における講義・演習に参画した。

(3) その他

日本弁護士連合会高齢者・障害者の権利に関する委員会精神保健プロジェクトチームとの懇談会や平成 24 年度家事関係機関との連絡協議会(熊本家庭裁判所、山梨家庭裁判所、福岡家庭裁判所小倉支部、東京家庭裁判所)等へ参加し意見を述べるとともに、東京家庭裁判所後見センターとの後見受任等に係る意見交換を行った。

2. 精神保健福祉士の職務に関する知識及び技術の向上に関する事業

1) 「生涯研修制度基本要綱」に基づく各種研修事業の実施

本協会構成員の自己研鑽の継続性を確保し、個々の資質の向上を図るとともに、精神保健福祉の発展に寄与するため、「生涯研修制度基本要綱」に基づく生涯研修制度(3体系)による各種研修事業を実施した。

研修事業(主に基幹研修Ⅰ)については、都道府県精神保健福祉士協会等(以下「都道府県協会」という。)の協力を得て、都道府県協会への委託事業として継続実施した。

また、養成研修のうち、認定スーパーバイザー養成研修及び認定成年後見人養成研修については、公益財団法人社会福祉振興・試験センターからの精神保健福祉士リーダー研修助成事業として実施した。

<基幹研修>

[基幹研修Ⅰ]

都道府県精神保健福祉士協会等に委託して実施した。

[開催数] 39 都道府県 30 か所(単独開催 25 か所、共催 5 か所)

[修了者] 743 人(構成員：411 人、非構成員：257 人)

[基幹研修Ⅱ・Ⅲ・更新] ※通算回数、() 内は更新研修

○第 14 回(第 7 回) [日 程] 2012 年 5 月 12 日(土)、13 日(日)

[会 場] TKP 神田ビジネスセンター(東京都千代田区)

[修了者] Ⅱ：78 人、Ⅲ：27 人、更新：95 人

○(第 8 回) [日 程] 2012 年 5 月 12 日(土)、13 日(日)

[会 場] 石川県地場産業振興センター(石川県金沢市)

[修了者] 64 人

○第 15 回(第 9 回) [日 程] 2012 年 7 月 28 日(土)、29 日(日)

[会 場] 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市)

[修了者] Ⅱ：77 人、Ⅲ：33 人、更新：64 人

○(第 10 回) [日 程] 2012 年 8 月 4 日(土)、5 日(日)

[会 場] オルガホール(岡山県岡山市) [修了者] 111 人

○第 16 回(第 11 回) [日 程] 2012 年 8 月 25 日(土)、26 日(日)

[会 場] 岩手県自治会館(岩手県盛岡市)

[修了者] Ⅱ：33 人、Ⅲ：15 人、更新：75 人

○(第 12 回) [日 程] 2012 年 8 月 25 日(土)、26 日(日)

- [会 場] 鹿児島県市町村自治会館（鹿児島県鹿児島市）
 [修了者] 109 人
- （第 13 回） [日 程] 2012 年 10 月 13 日（土）、14 日（日）
 [会 場] かでる 2・7 北海道立道民活動センター（北海道札幌市）
 [修了者] 70 人
- 第 17 回（第 14 回） [日 程] 2012 年 10 月 20 日（土）、21 日（日）
 [会 場] 松山東雲女子大学（愛媛県松山市）
 [修了者] II：43 人、III：6 人、更新：91 人
- 第 18 回（第 15 回） [日 程] 2012 年 11 月 23 日（祝金）、24 日（土）
 [会 場] 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
 [修了者] II：71 人、III：41 人、更新：83 人
- （第 16 回） [日 程] 2012 年 12 月 8 日（土）、9 日（日）
 [会 場] タイム 24（東京都江東区） [修了者] 76 人
- （第 17 回） [日 程] 2012 年 15 日（土）、16 日（日）
 [会 場] 兵庫県私学会館（兵庫県神戸市） [修了者] 60 人

<養成研修>

- 【第 8 回認定スーパーバイザー養成研修（基礎編）】※通算回数**
 [日 程] 2012 年 8 月 4 日（土）～6 日（月）
 [会 場] AP 品川（東京都港区） [修了者] 10 人 ※聴講参加者：5 人
- 【第 7 回認定スーパーバイザー養成研修（応用編）】※通算回数**
 [日 程] 2012 年 8 月 4 日（土）
 [会 場] AP 品川（東京都港区） [修了者] 10 人
- 【第 5 回認定スーパーバイザー養成研修・更新研修】※通算回数**
 [日 程] 2012 年 8 月 5 日（月）
 [会 場] AP 品川（東京都港区） [修了者] 5 人
- 【第 5 回認定成年後見人養成研修】※通算回数**
 [日 程] 2012 年 11 月 29 日（木）～12 月 1 日（日）
 [会 場] AP 浜松町（東京都港区） [修了者] 24 人
- 【第 4 回クローバー登録者継続研修】※通算回数**
 [日 程] <東京会場>2012 年 12 月 1 日（日）
 <福岡会場>2012 年 12 月 23 日（日）
 [会 場] <東京会場>AP 品川（東京都港区） [修了者] 48 人
 <福岡会場>福岡朝日ビル（福岡県福岡市） [修了者] 21 人

<課題別研修>

- 【第 5 回成年後見に関する研修】※通算回数**
 [日 程] 2012 年 11 月 29 日（木）、30 日（金）
 [会 場] AP 浜松町（東京都港区） [修了者] 16 人
- 【ソーシャルワーク研修 2012～知識や技術を高めよう～】**
 [日 程] 2012 年 9 月 27 日（土）、28 日（日）
 [会 場] 昭和女子大学（東京都世田谷区）
 [テーマ]（1）「医療」と「地域」の有機的な連携とは？ [修了者] 59 人
 （2）認知症の人の支援に関わる精神保健福祉士 [修了者] 25 人
 （3）相談面接技法を学ぶ [修了者] 58 人
- 【平成 24 年度精神保健福祉士実習指導者講習会】[厚生労働省委託事業]**
 [開催か所数] 12 か所 [全修了者数] 1,156 人
- 東京会場 [日 程] 2013 年 2 月 2 日（土）、3 日（日）

- 静岡会場 [会場] タイム 24 (東京都江東区) [修了者] 172 人
[日程] 2013 年 2 月 9 日 (土)、10 日 (日)
- 京都会場 [会場] ツインメッセ静岡 (静岡県静岡市) [修了者] 100 人
[日程] 2013 年 2 月 10 日 (日)、11 日 (祝月)
- 宮城会場 [会場] 京都テルサ (京都府京都市) [修了者] 146 人
[日程] 2013 年 2 月 16 日 (土)、17 日 (日)
[会場] TKP ガーデンシティ仙台 (宮城県仙台市)
[修了者] 85 人
- 鳥取会場 [日程] 2013 年 2 月 22 日 (金)、23 日 (土)
[会場] 米子コンベンションセンターBiG ShiP (鳥取県米子市)
[修了者] 34 人
- 福島会場 [日程] 2013 年 3 月 2 日 (金)、3 日 (土)
[会場] コラッセふくしま (福島県福島市) [修了者] 45 人
- 奈良会場 [日程] 2013 年 3 月 2 日 (金)、3 日 (土)
[会場] エルトピア奈良 (奈良県奈良市) [修了者] 97 人
- 香川会場 [日程] 2013 年 3 月 14 (木)、15 日 (金)
[会場] かがわ国際会議場 (香川県高松市) [修了者] 83 人
- 北海道会場 [日程] 2013 年 3 月 16 日 (土)、17 日 (日)
[会場] 札幌コンベンションセンター (北海道札幌市) [修了者] 89 人
- 新潟会場 [日程] 2012 年 3 月 23 日 (土)、24 日 (日)
[会場] 朱鷺メッセ (新潟県新潟市) [修了者] 91 人
- 鹿児島会場 [日程] 2012 年 3 月 24 日 (土)、25 日 (日)
[会場] 天文館ビジョンホール (鹿児島県鹿児島市) [修了者] 98 人
- 佐賀会場 [日程] 2012 年 3 月 27 日 (水)、28 日 (木)
[会場] サンメッセ鳥栖 (佐賀県鳥栖市) [修了者] 116 人

3) 「精神保健福祉士による災害支援活動に関する研修」の開催 [公益財団法人社会福祉振興・試験センター福祉人材養成・研修事業]

これまでの被災体験や被災地支援を通じた経験や技術を踏まえ、実際の有事の支援において、要援護者支援及びこころのケアが必要とされる者に有効な支援を提供できる精神保健福祉士を養成することを目的として、3か所において「精神保健福祉士による災害支援活動に関する研修」を開催した。

- 佐賀会場 [日程] 2012 年 9 月 9 日 (日)
[会場] サンメッセ鳥栖 (佐賀県鳥栖市) [修了者] 21 人
- 愛知会場 [日程] 2012 年 10 月 21 日 (日)
[会場] AP 名古屋 (愛知県名古屋市) [修了者] 14 人
- 北海道会場 [日程] 2012 年 11 月 11 日 (日)
[会場] 北農健保会館 (北海道札幌市) [修了者] 20 人
- 和歌山会場 [日程] 2012 年 12 月 9 日 (日)
[会場] 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ (和歌山県和歌山)
[修了者] 23 人
- 高知会場 [日程] 2013 年 1 月 20 日 (日)
[会場] 高知商工会館 (高知県高知市) [修了者] 26 人

4) 「精神障害者の地域生活移行支援に関する研修」の開催 [公益財団法人社会福祉振興・試験センター福祉人材養成・研修事業]

相談支援事業の個別給付化により、精神障害者の地域移行の取り組みに新たな展開が行われる初年度となるため、精神障害のある方の「想いに寄り添い、その声を聞く」という原点に立ち戻

りながら、新たな制度下での退院と地域生活への移行・定着支援に必要な最新の知識と実践力を身に付けるため開催した。

- 東京会場 [日 程] 2012年7月9日(月)、10日(火)
[会 場] AP西新宿(東京都新宿区) [修了者] 54人
- 鳥取会場 [日 程] 2012年9月3日(月)、4日(火)
[会 場] 米子コンベンションセンター・BiG SHiP(鳥取県米子市)
[修了者] 34人
- 鹿児島会場 [日 程] 2012年10月31日(水)、11月1日(木)
[会 場] 鹿児島県市町村自治会館(鹿児島県鹿児島市) [修了者] 64人

5) 研修センターの運営

(1) 生涯研修制度の実施運営

①基幹研修関係

- ア 基幹研修Ⅰの各都道府県精神保健福祉士協会への委託実施の調整
- イ ブロック会議への基幹研修委託実施状況と協力要請のための研修企画運営委員の派遣
- ウ 基幹研修Ⅰの未実施地域に所属する構成員への研修受講機会確保のための調整等
- エ 基幹研修Ⅰの修了証書発行及び研修履歴の管理等
- オ 基幹研修Ⅱ・Ⅲの講師及び研修企画運営委員等による研修プログラムの企画立案・開催に係る事務的実務、当日の運営、修了者アンケート及び研修スタッフによるモニタリングの実施
- カ 「研修認定精神保健福祉士」への「認定証」「認定シール」の発行・発送等
- キ 研修認定精神保健福祉士個人票の管理
- ク 生涯研修制度共通テキストの販売

②養成研修・課題別研修

- ア 講師陣及び研修企画運営委員等による研修プログラムの企画立案・開催に係る事務的実務、当日の運営、修了者アンケート及び研修スタッフによるモニタリングの実施
- イ 一部研修の補助金及び助成金による実施(事業目的、実施計画、実施により得られる成果の活用方法及び予算案等の作成、研修の効果測定の実行、事業実施報告書の作成等)
- ウ 「認定スーパーバイザー」への「登録証」の発行及び研修履歴の管理
- エ 「認定スーパーバイザー」の情報公開のための事務手続きと研修センターだよりでの周知により、構成員のスーパービジョン機会の提供
- オ 「平成24年度厚生労働省委託事業 実習指導者講習会」実施のための研修企画委員等による講習会プログラムの企画立案・講習会テキストの作成・開催に係る事務的実務、当日の運営、修了者アンケートの集計等の実施
- カ その他課題別研修の開催準備等

(2) 広報活動の展開

- ①本協会ウェブサイトによる各種情報の提供
- ②研修センターだより「Start line」を6回発行し、生涯研修制度に関する周知及び各種研修開催案内を掲載した。

[No.22] 2012年5月15日 [No.23] 2012年7月15日 [No.24] 2012年9月15日

[No.25] 2012年11月15日 [No.26] 2013年1月15日 [No.27] 2013年3月15日

- ③2012年度都道府県支部長会議及びブロック内支部代議員・支部長・ブロック選出理事会議(ブロック会議)において、基幹研修Ⅰの委託実施状況及び基幹研修修了者状況の報告を行い、次年度以降の都道府県支部単位及びブロック単位等での基幹研修Ⅱ及びⅢの開催に係る意向確認を行い、今後の研修実施体制の参考とした。

- ④教育機関に所属を持つ一部構成員に対して、学生を受講対象に含む研修案内の周知協力を依頼した。また、都道府県精神保健福祉士協会等に非構成員を受講対象に含む研修案内の周知依頼を行った。

3. 精神保健福祉士の倫理及び資質の向上に関する事業

1) 苦情申立への対応

- (1) 倫理委員会規程に基づく倫理委員会を開催し、倫理委員会に伝達された苦情処理規程に基づく苦情申立に関する採決に係る審査等を行った。

[苦情申立] 1件(認容、調査結果による審査待ち)

- (2) 苦情対応の迅速化及び懲罰処分規定等の見直しを目的に、倫理委員会規程及び苦情処理規程を改正し、2013年4月1日に施行することとした。

2) 「精神保健福祉士業務指針第2版」の策定に向けた取り組み

2013年度の改訂版(第2版)策定を目標として、第1版における総論部分について、課題整理と具体的な修正作業を行った。

3) 障害者の相談支援の充実に向けた取り組み

障害者の相談支援の充実強化を図り、従事する専門支援員における精神保健福祉士の立場の確立と専門性の発揮等に資する仕組み作りを目標に、現行の相談支援の課題等を整理し、本協会内における相談支援に係る意見集約の機能設置、相談支援ハンドブックの作成に向けた準備を進めた。

4) 「第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会」の開催

構成員をはじめとした精神保健福祉士の資質向上と相互交流等を目的に、熊本県支部及び熊本県精神保健福祉士協会の協力を得て、次の日程等で開催した。

[テーマ] 想いをつなごう くまもと大会 再生・創生・深化～精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて～

[日程] 2012年6月22日(金)、23日(土) ※21日(木)にプレ企画を開催

[会場] 熊本県立劇場(熊本県熊本市)

[参加者] 1,064人 ※参加費対象人数

[後援] 厚生労働省、熊本県、熊本市、公益社団法人日本精神科病院協会、公益社団法人日本精神神経科診療所協会、社団法人日本医師会、社団法人日本精神科看護技術協会、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人日本精神衛生会、日本病院・地域精神医学会、一般社団法人日本作業療法士協会、特定非営利活動法人日本障害者協議会、日本障害フォーラム、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、特定非営利活動法人障害者インターナショナル日本会議、特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会、特定非営利活動法人全国精神障害者団体連合会、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ、社団法人日本てんかん協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、きょうされん、社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会、全国精神保健福祉相談員会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会、日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、社団法人日本介護福祉士会、全国救護施設協議会、社団法人日本社会福祉教育学校連盟、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会、社団法人日本精神神経学会、一般社団法人日本総合病院精神医学会、社団法人全国自治体病院協議会、全国保健・医療・福祉心理職能協会、日本児童青年精神医学会、日本集団精神療法学会、日本精神保健看護学会、日本臨床心理学会、日本デイケア学会、国立精神医療施設長協議会、全国精神保健福祉センター長会、公益社団法人

認知症の人と家族の会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、SST 普及協会、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本職業リハビリテーション学会、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会、社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会、財団法人日本知的障害者福祉協会、社会福祉法人中央共同募金会、更生保護法人日本更生保護協会、日本弁護士連合会、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート、日本司法書士会連合会、公益財団法人社会福祉振興・試験センター、株式会社福祉新聞社、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本言語聴覚士協会、特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会、社団法人日本社会福祉士養成校協会、全国保健所長会、全国衛生部長会、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク、一般社団法人日本精神保健福祉事業連合、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本保護観察所、九州精神科病院協会、熊本県医師会、社団法人熊本市医師会、公益社団法人熊本県精神科協会、公益社団法人熊本県精神保健福祉協会（熊本こころの電話）、熊本県精神科病院協同組合、熊本県精神神経科診療所協会、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会、社団法人熊本県歯科医師会、社団法人熊本県薬剤師会、社団法人熊本県看護協会、特例社団法人日本精神科看護技術協会熊本県支部、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、公益社団法人熊本県作業療法士会、社団法人熊本県社会福祉士会、熊本県介護福祉士会、熊本県臨床心理士会、一般社団法人熊本県言語聴覚士会、熊本県介護支援専門員協会、一般社団法人熊本県栄養士会、社団法人熊本県理学療法士協会、社会福祉法人熊本いのちの電話、熊本障害者職業センター、社団法人熊本県精神障害者福祉会連合会、熊本県精神障害者社会復帰施設協議会、熊本県精神障害者団体連合会、特定非営利活動法人熊本県断酒友の会、特定非営利活動法人熊本 DARC、高次脳機能障碍「ぷらむ」熊本、NHK 熊本放送局、株式会社熊本県民テレビ、株式会社熊本放送、株式会社テレビ熊本、株式会社熊本日日新聞社、熊本朝日放送株式会社、株式会社朝日新聞社熊本総局、読売新聞西部本社熊本支局（順不同）

5) 「第 11 日本精神保健福祉士学会学術集会」の開催 ※通算回数

本協会内に設置する日本精神保健福祉士学会の学術集会として、「第 48 回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会」との合同企画（主に分科会及びポスターセッション）及び運営等により、熊本県支部及び熊本県精神保健福祉士協会の協力を得て、次の日程等で開催した。

[日 程] 2012 年 6 月 22（金）、23 日（土） ※6 月 21 日（木）にプレ企画を開催

[会 場] 熊本県立劇場（熊本県熊本市）

6) 第 12 回日本精神保健福祉士学会学術集会に係る「学術集会抄録原稿査読小委員会」の開催

本協会内に設置する日本精神保健福祉士学会の学術集会として 2013 年度に「第 49 回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会」（開催地：石川県金沢市）との合同企画で開催する第 12 回日本精神保健福祉士学会学術集会企画となる分科会に関して、演題発表に係る抄録掲載原稿の査読を行う小委員会を次の日程等で開催した。

[日 程] 2013 年 2 月 16 日（土）、17 日（日）

[会 場] 本協会事務局 会議室（東京都新宿区）

7) 日本精神保健福祉士学会の査読体制の見直しに向けた検討

機関誌（学会誌）への投稿論文等の査読体制等について見直しに向けた検討を行った。

8) 機関誌『精神保健福祉』の発行

構成員をはじめ精神保健福祉分野に関係する団体、個人等に対して、精神保健福祉に係る様々な情報提供を行うとともに、精神保健福祉をめぐる状況を踏まえて精神保健福祉士の課題を明確化し、構成員をはじめ精神保健福祉士に対して日常実践の指針となりうる素材を提供するため、年 4 回発行した。

なお、第45巻第3号（通巻91号）については、「第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第11回日本精神保健福祉学会学術集会報告集」として発行した。

第44巻第2号（通巻90号）：2012年6月25日発行

〔特集〕今まさに問う、アウトリーチの真価と醍醐味とは

第45巻第3号（通巻91号）：2012年9月25日発行

第46巻第4号（通巻92号）：2012年12月25日発行

〔特集〕精神保健福祉士として生きる一悩み、ゆらぎからの創造

第47巻第1号（通巻93号）：2013年3月25日発行

〔特集〕当事者による支援活動と精神保健福祉士

9) 構成員誌『PSW通信』の発行

構成員への協会活動の広報普及や誌面を通じた情報交換・相互交流の促進を図るため、年6回発行した。

No.178：2012年5月15日発行 No.179：2012年7月15日発行

No.180：2012年9月15日発行 No.181：2012年11月15日発行

No.182：2013年1月15日発行 No.183：2013年3月15日発行

10) 精神保健福祉士及び精神保健福祉に関する情報を掲載したウェブサイトの運営

国民や構成員をはじめ精神保健福祉分野に関係する団体、個人等に対して、本協会活動や精神保健福祉士及び精神保健福祉に係る様々な情報提供を迅速に行うため、ウェブサイトの運営を行った。

11) 広報のあり方に関する検討

本協会の広報媒体のうち、特に構成員誌「PSW通信」及びウェブサイトの見直しについて検討を進めた。

12) 国際情報の収集と情報提供

本協会及び構成員のグローバル化をめざし、国際ソーシャルワーカー連盟（International Federation of Social Workers、以下「IFSW」という。）に加盟する社会福祉専門職団体協議会の国際委員会への参画を通して、各国のソーシャルワーカーとの情報交換・交流を図るとともに、ソーシャルワークの世界定義の見直しに向けた取り組みに関する情報を構成員に情報提供した。

13) 関係資料の配布等

法制度・施策等に関する情報共有や理解促進を図るため、ウェブサイトを通じて情報提供・紹介等した。

4. 精神保健福祉士の資格制度の充実発展並びに普及啓発に関する事業

1) 精神保健福祉士の配置促進及び待遇改善に向けた取り組み

精神保健福祉士を取り巻く雇用環境及び待遇等職場環境の改善に向けた取り組みとして、2014年度診療報酬改定に向けた要望項目の取りまとめと、要望項目に対応するエビデンスの収集、及び各領域における配置促進・待遇改善に関する検討に着手した。

2) 精神保健福祉士の福祉人材としての役割の明確化

生涯研修制度における課題別研修の一環として開催したソーシャルワーク研修2012をはじめとして、多様なニーズに応える研修を企画・実施した。

3) 認証資格制度のあり方等に関する検討

精神保健福祉士業務従事者に関する認証制度の活用のあり方に関する検討に着手した。

4) 精神保健福祉士の資格及び業務等の普及啓発

精神保健福祉士の資格や業務等を広く普及啓発するため、リーフレットの一部分改訂版を作成した。また、多様なメンタルヘルス課題への対応策を担う関係省庁の取り組みに積極的に関与した。

○文部科学省主催「平成24年度『スクールソーシャルワーカー活用事業』連絡協議会への出席

- 文部科学省宛「教職員のメンタルヘルス対策について（中間まとめ）に関する意見」の提出
- 国土交通省関東運輸局主催「関東管内バリアフリーネットワーク会議」への出席
- 消費者庁主催「高齢消費者・障害消費者見守りネットワーク連絡協議会」への出席
- 内閣府宛「自殺総合対策の見直し素案に対する意見」発出（2012年8月17日）

5) ソーシャルワーカーデーへの取り組み

ソーシャルケアサービス従事者研究協議会において設定されたソーシャルワーカーデー記念行事として、2012年7月16日に開催したシンポジウムに本協会も参加した。

6) 関係団体と協働した「社会福祉に関する政策勉強会」の開催

ソーシャルケアサービス従事者研究協議会の活動の一環として「社会福祉に関する政策勉強会」を2回開催した（第1回：2012年7月19日、第2回：2013年3月21日）。また、衆議院選挙に向けた「社会福祉政策に関する公開質問」を実施し8政党から回答を得た。

7) 精神保健福祉士養成に関する書籍等の出版編集等

国家試験対策等の精神保健福祉士養成に関して、次の書籍等の出版編集等を行った。

- 「精神保健福祉士受験ワークブック 2013」編集（中央法規出版株式会社）
- 「第14回精神保健福祉士国家試験解答・解説集」編集（株式会社へるす出版）
- 「教員と実習指導者のための精神保健福祉援助実習・演習」一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会と共同編集（中央法規出版株式会社）

5. 精神保健福祉及び精神保健福祉士に関する調査研究に関する事業

1) 構成員を対象とした業務実態に関する調査の実施

2011年度に実施したプレ調査の結果を基に、調査項目を確定し全構成員を対象とした業務実態調査を実施及び回答の集計作業を行い、集計結果の分析に着手した。

2) 各種委員会等の設置

精神保健福祉及び精神保健福祉士に関する調査研究等を行うため、各種委員会等を設置し、事業計画に基づく各種活動に取り組んだ（「2012年度部及び委員会体制」参照）。

また、各委員長と常任理事会構成者による委員長会議を本協会のシンクタンクの機能として位置づけて2回開催し、本協会の取り組むべき組織横断的な課題等の共有化と委員会相互の連携を図った。

3) 精神保健福祉等に関する関係機関・団体が行う調査研究への協力への組織的な協力

2012年度から3か年計画で調査研究であり「精神保健福祉士の活動評価及び介入手法の開発と普及に関する研究」（平成24年度厚生労働科学研究）について、精神科医療、障害福祉サービス等事業、介護サービス事業、生活保護や更生保護等の行政及び教育その他の4領域における実態把握調査（第一次調査）等について、本協会から研究協力者の派遣等の組織的な協力を行った。また、「重度慢性入院患者の基準検討ワーキングチーム」（厚生労働科学研究）に役員を派遣した。

この他、精神保健福祉等に関する関係機関・団体が行う調査研究や事業活動について、その求めに応じて積極的に役員等の派遣や情報提供に協力し、国民の精神保健医療福祉の向上等に努めた（「2012年度関係機関・団体等への役員等派遣体制」参照）。

6. 国内国外の社会福祉専門職団体やその他の関係団体との連携に関する事業

1) 国内の社会福祉に係る関係団体との連携

公益財団法人社会福祉振興・試験センター、社会福祉専門職団体協議会（社専協）、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）、一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDD ネット）、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、精神保健従事者団体懇談会（精従懇）等の組織及び事業等に役員等が参加し、連携を図った（「2012年度関係機関・団体等への役員等派遣体制」参照）。

また、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会（精養協）との間において、精神保健福祉

士養成担当研修事業の円滑な実施や本協会への入会勧奨方法等に関して、定期会合を行うとともに、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）との間において、精神保健福祉施策等に係る情報交換の場として定期会合を行った。

2) 国外の社会福祉に係る関係団体との連携

(1) IFSWへの継続加盟

社専協を国内調整団体として、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、社団法人日本社会福祉士会とともに継続加盟した。

また、社専協の会長及び事務局団体として、代表者会議の実施運営等を担った。

(2) ソーシャルワーク世界会議及び IFSW 総会への出席

次の日程で開催されたソーシャルワーク世界会議（Social Work Social Development 2012）と世界会議に合わせて開催される IFSW 総会に出席した。

〔日 程〕 2012 年 7 月 8 日（日）～12 日（木）

〔場 所〕 スtockホルム市（スウェーデン）

3) 平成 24 年度精神保健福祉士海外研修・調査事業への協力

公益財団法人社会福祉振興・試験センター主催の精神保健福祉士等の海外研修・調査事業に協力し、派遣対象者の推薦（1 人／構成員）を行い、決定した。

7. その他目的達成のために必要な事業

1) 組織体制の強化及び適切な組織運営の推進

(1) 正会員の入会促進及び組織率の向上等

本協会の目的に賛同して入会する正会員の入会促進に努め、組織率の向上を図った。

<構成員数>9,035 人（2012 年度第 2 回理事会への報告者数）

（参 考）2011 年度事業報告：8,488 人（2012 年 3 月 31 日現在）

入会届の裏面を活用した新入会者へのアンケートを実施することで入会動機等を把握し、入会促進に向けた検討材料とした。

また、本協会への入会促進策として学生会員制度を開始し、学生会員への PSW 通信等の配布、定期的なメールマガジンの配信、入会勧奨等を行った。

<学生会員数>77 人（2012 年度）

(2) 会費納入システムの完全移行に向けた取り組み

2014 年 2 月 28 日までの口座引き落としによる会費納入システムへの全構成員の移行に向けて、都道府県支部長会議及びブロック会議等を通じて周知徹底を図った。

(3) 賛助会員の入会促進

本協会の事業を賛助するために入会する賛助会員（個人又は団体）の募集を行い、関係者及び関係団体の入会促進に努めた。

<賛助会員数>個人 8 人、団体 4 団体（2012 年 3 月 31 日現在）

(4) 構成員名簿の作成に向けた準備

2013 年度の構成員名簿作成に向けた準備として、配布形態及び名簿掲載項目の確定を行った。

(5) 支部組織の連携等の推進

① 支部設置に係る調整及び支部活動協力費の支出

都道府県支部が本部事業に協力する際に要する経費について、都道府県支部を担う都道府県協会に「支部活動協力費」として支出した。

② 「ブロック内支部代議員・支部長・ブロック選出理事会（ブロック会議）」の開催

本協会の事業に係る情報共有や協力事項の検討、要望事項の整理等により、本部・支部間及びブロック内支部間の連携を図るとともに、都道府県協会の事業に係る情報交換等により、本協会と都道府県協会及びブロック内都道府県協会間の連携や協力関係を構築する

ことを目的に開催した。

なお、会議録をウェブサイト（会員ページ）に掲載し、検討内容の共有等を図った。

<北海道ブロック会議>

〔日 程〕2012年11月23日（金）

〔場 所〕札幌エルプラザ（北海道札幌市）

<東北ブロック会議>

〔日 程〕2012年11月17日（土）〔場 所〕宮城自治労会館（宮城県仙台市）

<関東・信越ブロック会議>

〔日 程〕2013年1月6日（日）

〔場 所〕東京都産業労働局秋葉原庁舎（東京都千代田区）

<東海・北陸ブロック会議>

〔日 程〕2012年11月10日（土）

〔場 所〕ABC貸会議室（愛知県名古屋市）

<近畿ブロック会議>

〔日 程〕2013年1月26日（土）

〔場 所〕貸会議室ユーズ・ツウ（大阪府大阪市）

<中国ブロック会議>

〔日 程〕2013年1月27日（日）

〔場 所〕サン・ピーチ OKAYAMA（岡山県岡山市）

<四国ブロック会議>

〔日 程〕2013年1月19日（土） 10時30分～16時30分

〔場 所〕医療法人睦み会 城西ビオスクリニック（徳島県徳島市）

<九州・沖縄ブロック会議>

〔日 程〕2012年11月3日（土）、4日（日）

〔場 所〕都城市総合文化ホール（宮崎県都城市）

③「都道府県支部長会議」の開催

〔日 程〕2012年10月28日（日）

〔場 所〕国際ファッションセンター（東京都墨田区）

〔内 容〕○協議事項

1. 公益社団法人移行後の代議員（会）に代わる仕組みについて
2. 基幹研修Ⅱ・Ⅲのブロック単位における開催の検討について
3. 口座振替による会費収納システムへの全構成員の移行にむけた対応について
4. 今後の精神保健医療福祉における入院制度の在り方等について
5. 東日本大震災被災地復興支援について
6. 都道府県支部における災害対策委員の配置及び災害対策計画の策定について

○報告事項

1. 2012年度精神保健福祉士実習指導者講習会の開催日程案について

2) 東日本大震災の復興支援に向けた取り組み

2012年4月1日に「東日本大震災復興支援本部」を設置し、東日本大震災対策本部の機能を継承し、被災地支援の実際を踏まえ、復興支援に向けた協議や次の復興支援活動に取り組んだ。

<主な取り組み>

- (1) 復興支援活動等に係る構成員間の募金活動

募金額合計 114件 2,285,564円（2012年度末現在）

- (2) みやぎ心のケアセンターの短期支援者としての構成員の派遣

短期支援者として東日本大震災復興支援人材バンクに登録のあった構成員 28 人を派遣した（2012 年 7 月 2 日～12 月 28 日、延べ活動日数 150 日）。

(3) 東北復興 PSW にゆうすの発行

被災地と全国の精神保健福祉士を結ぶ情報媒体として「東北復興 PSW にゆうす」を 4 回発行した。

(4) ほっとミーティングの開催

被災地に本部員が訪問し、現地の精神保健福祉士等との交流を図るほっとミーティングを次の通り開催した。

[ほっとミーティング]

<第 1 回> [日 程] 2013 年 1 月 26 日 (土) [場 所] 宮城県石巻市

<第 2 回> [日 程] 2013 年 3 月 19 日 (火) [場 所] 岩手県大船渡市

3) 災害支援に関する体制の整備

2009 年度に本協会が策定した「社団法人日本精神保健福祉士協会災害支援ガイドライン」の見直しに向けて検討を進めた。

また、都道府県単位の災害対策計画の策定状況の確認を行うとともに、改めて都道府県支部における災害対策委員の設置に係る要綱を定めた。

4) 新公益法人への移行に向けた具体的な取り組み

公益社団法人移行プロジェクトによる移行準備を進め、2012 年 10 月 28 日に臨時総会を開催し、法人移行後の定款等の承認を受け、11 月 30 日に内閣府公益等認定委員会に公益社団法人への認定申請を行った。その結果、本協会は 2013 年 3 月 28 日に内閣総理大臣による認定を受け、2013 年 4 月 1 日に公益社団法人に移行することとなった。

また、公益社団法人移行後において代議員制度が廃止となることから、代議員（会）に代わる仕組みについて、都道府県支部長会議及びブロック会議における意見を踏まえ、具体化に向けて検討を重ねた。

5) 本協会設立 50 周年記念事業に向けた準備

本協会設立 50 周年記念事業の一環として、記念誌発行に係る編集担当者や精神保健福祉用語辞典の改訂に係る編集委員を選任し、それぞれの発行に向けた準備作業に着手した。

6) 会務の運営

定款の規定等に基づき、総会（通常）、代議員会（通常）、理事会（通常・臨時）、常任理事会を開催した。

[第 9 回通常総会]

[日 程] 2012 年 6 月 22 日 (金) [会 場] 熊本県立劇場（熊本県熊本市）

[第 9 回代議員会]

[日 程] 2012 年 3 月 10 日 (日) [会 場] 弘済会館（東京都千代田区）

[通常理事会]

第 1 回 [日 程] 2012 年 6 月 21 日 (木) [会 場] 熊本県立劇場（熊本県熊本市）

第 2 回 [日 程] 2013 年 3 月 9 日 (土)、10 日 (日)

[会 場] 弘済会館（東京都千代田区）

[臨時理事会]

第 1 回 [日 程] 2012 年 4 月 21 日 (土) [会 場] 共和フォーラム（東京都台東区）

第 2 回 [日 程] 2012 年 10 月 27 日 (土)、28 日 (日)

[会 場] <10 月 27 日> 共和フォーラム（東京都台東区）

<10 月 28 日> 東京ファッションセンター（東京都墨田区）

第 3 回 [日 程] 2013 年 2 月 9 日 (土)、10 日 (日)

[会 場] 弘済会館（東京都千代田区）

[常任理事会]

- 第1回 [日 程] 2012年5月19日(土)、20日(日)
[会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)
- 第2回 [日 程] 2012年7月14日(土)、15日(日)
[会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)
- 第3回 (書面表決日) 2012年8月14日(火)
- 第4回 [日 程] 2012年9月8日(土)、9日(日)
[会 場] <9月8日>主婦会館プラザエフ(東京都千代田区)
<9月9日>本協会事務局 会議室(東京都新宿区)
- 第5回 [日 程] 2012年11月17日(土)
[会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)
- 第6回 [日 程] 2012年12月8日(土)
[会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)
- 第7回 [日 程] 2013年1月12日(土)、13日(日)
[会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)

[2011年度会計及び業務監査]

[日 程] 2012年4月27日(金) [会 場] 本協会事務局 会議室(東京都新宿区)

【その他の活動報告】本協会役職員が出席した関係機関等の会合等
<2012年>

- 4月5日 日本社会事業大学・大学院入学式
- 4月17日 一般社団法人日本発達障害ネットワーク在り方委員会
- 4月18日 国民医療推進協議会 TPP参加反対総決起集会
- 4月20日 関係機関挨拶まわり
- 4月20日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第1回国際委員会
- 4月20日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第1回代表者会議
- 4月24日 金融庁「多重債務者相談の手引き」研修会
- 4月25日 平成24年度第1回精神保健福祉関係5団体情報交換会
- 4月25日 厚生労働省「精神科医療の機能分化と質の向上等に関する検討会」における「人員体制」に関するヒアリング
- 4月27日 厚生労働省「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」における「保護者制度・入院制度」に関するヒアリング
- 4月27日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 2012年度第1回全体会議
- 4月28日 熊本県精神保健福祉士協会総会・研修会(熊本県熊本市)
- 5月13日 高橋重宏先生を偲ぶ会
- 5月15日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 5月15日 社団法人日本医師会 役員改選披露パーティー
- 5月16日 日本の福祉を考える会
- 5月16日 第4回精神科医療の機能分化と質の向上等に関する検討会
- 5月24日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 事務局長会議
- 5月27日 和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会 記念講演会
- 5月30日 日本弁護士連合会「高齢者・障害者の権利に関する委員会精神保健プロジェクトチーム」との定期懇談会
- 6月1日 社団法人日本精神科看護技術協会 第37回日本精神科看護学術集会(兵庫県神戸市)
- 6月2日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 第1回総会及び政策会議
- 6月2日 精神保健従事者団体懇談会 幹事会及び定例会
- 6月4日 財団法人日本精神衛生会 理事会

- 6月5日 公益社団法人日本看護協会 平成24年度通常総会（千葉県千葉市）
- 6月10日 一般社団法人日本発達障害ネットワーク 代議員総会・会員懇談会
- 6月12日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 6月15日 厚生労働科学研究に関する打合せ
- 6月15日 公益社団法人日本精神科病院協会 公益法人移行に伴う祝賀会
- 6月15日 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 第1回評議員会
- 6月15日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 全体会議
- 6月15日 一般社団法人日本精神保健福祉事業連合 第1回全国大会 in YOKOHAMA
- 6月16日 災害復興支援報告会シンポジウム（福島県）
- 6月20日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会政策勉強会打合せ
- 6月28日 「てんかん地域診療連携・東京都モデル」準備会議
- 6月29日 第7回高齢消費者・障害消費者見守りネットワーク連絡協議会
- 6月29日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第2回代表者会議
- 6月29日 「SW of the year 2012 顕彰事業」選考審査会
- 6月29日 日本精神保健福祉学会 第1回学術研究集会（北海道札幌市）
- 6月29日 一般社団法人精神保健福祉士養成校協会 第1回理事会（北海道札幌市）
- 6月30日 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 2012年度全国研修会及び総会
- 6月30日 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート 第14回定時総会
- 7月6日 東京都立中部総合精神保健福祉センター 平成24年度「災害とメンタルヘルス」研修
- 7月7、8日 国際ソーシャルワーカー連盟 2012年総会（ストックホルム／スウェーデン）
- 7月8～12日 ソーシャルワーク及び社会開発合同世界会議 2012（ストックホルム／スウェーデン）
- 7月16日 第4回ソーシャルワーカーデー「福祉なんでも相談」
- 7月16日 第4回ソーシャルワーカーデー中央集会
- 7月16日 新潟県精神保健福祉士協会 平成24年度総会時研修
- 7月17日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 7月19日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 2012年度第1回社会福祉に関する政策研究会
- 7月21日 第21回聴障者精神保健研究集会
- 7月25日 上智大学総合人間科学部社会福祉学科ソーシャルワーク実習スーパービジョン勉強会
- 7月25日 平成24年度自殺対策ネットワーク会議
- 7月25日 第6回自殺対策研究協議会
- 7月28日 精神保健従事者団体懇談会 幹事会・定例会
- 7月31日 東日本大震災中央子ども支援センター協議会（第3回）
- 8月1日 日本弁護士連合会 シンポジウム～「生活支援戦略」策定上の課題～
- 8月8日 厚生労働科学研究「精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究」第4研究班（介護サービス等）会合（広島県）
- 8月21日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 8月24日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第3回代表者会議
- 8月30日 公益社団法人全国自治体病院協議会 総会・研修会に係る50周年祝賀会兼懇親会
- 9月1日 更生保護・福祉連携シンポジウム（第62回“社会を明るくする運動”中央行事）
- 9月1日 厚生労働科学研究「精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究」第1研究班（精神科医療機関）会合
- 9月6日 厚生労働科学研究「精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究」分担研究者会議
- 9月7日 公益社団法人日本精神科病院協会 看護・コメディカル委員会

- 9月10日 公益財団法人日本精神衛生会 第3回理事会
- 9月11日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 9月13日 平成24年度「スクールソーシャルワーカー活用事業」連絡協議会
- 9月15日 一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDD ネット） 理事会
- 9月16日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第2回国際委員会
- 9月17日 社団法人日本精神神経学会 多職種協働委員会
- 9月19日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 全体会議
- 9月29日 精神保健従事者団体懇談会 幹事会及び定例会
- 9月29日 きょうされん 第35回全国大会 in ふくい
- 10月2日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 各政党への公開質問状作成ワーキングチーム第1回打合せ
- 10月9日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 10月12日 精神保健福祉関係5団体情報交換会
- 10月12日 全国救護施設協議会との意見交換
- 10月19日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第4回代表者会議
- 10月22日 厚生労働省 障害保健福祉関係主管課長会議
- 10月22日 東京家庭裁判所平成24年度後見人等候補者推薦団体との連絡協議会
- 10月29日 第1回重度慢性入院患者の基準検討のための調査研究等に関するワーキングチーム
- 10月30日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 各政党への公開質問状作成ワーキングチーム第2回打合せ
- 11月1日 熊本家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会
- 11月5日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 全体会議
- 11月9日 厚生労働省への訪問・挨拶
- 11月11日 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 理事会
- 11月13日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 11月15日 第8回国民医療推進協議会総会
- 11月18日 公益社団法人日本精神神経学会 多職種協働委員会
- 11月20日 公益社団法人日本精神保健福祉連盟 企画実行委員会
- 11月20日 第14回「日本の福祉を考える会」
- 11月26日 公益財団法人日本精神衛生会 理事会
- 11月28日 甲府家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会
- 11月29日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 公開質問状の件に関する協議
- 11月30日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第3回国際委員会
- 12月1日 社会福祉法人南高愛隣会 福祉のトップセミナーin 雲仙 2012（パネルディスカッション）
- 12月1日 一般社団法人日本発達障害ネットワーク 体験博覧会
- 12月2日 一般社団法人日本発達障害ネットワーク 第8回年次大会
- 12月3日 内閣府 「障害者週間」記念式典
- 12月6日 医療心理師国家資格推進制度協議会 総会
- 12月11日 第62回“社会を明るくする運動”法務大臣感謝状贈呈式
- 12月11日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 12月14日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第5回代表者会議
- 12月18日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 社会福祉に関する政策研究会に係る会議
- 12月21日 国民医療推進協議会 国民医療を守るための総決起大会
- 12月28日 平成24年度厚生労働科学研究 第4回分担研究者会議

<2013年>

- 1月10日 四病院団体協議会賀詞交歓会
- 1月15日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 新年会
- 1月17日 日本司法書士会連合会等 平成25年新年賀詞交歓会
- 1月20日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 賀詞交歓会
- 1月25日 精神保健福祉事業団体連絡会
- 1月26日 厚生労働科学研究医療班会議
- 1月30日 福岡地方・家庭裁判所小倉支部 平成24年度家事関係機関との連絡協議会
- 2月1日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 2012年度第2回社会福祉に関する政策研究会に係る会議
- 2月11日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第4回国際委員会
- 2月12～14日 第6回世界精神医学会アンチスティグマ分科会国際会議
- 2月12日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 2月15日 社会福祉専門職団体協議会 2012年度第6回代表者会議
- 2月19日 第4回東日本大震災中央子ども支援センター協議会
- 2月22日 自由民主党政務調査会障害者特別委員会
- 2月26日 厚生労働省 第2回「重度慢性入院患者の基準検討のための調査研究等に関するワーキングチーム
- 2月28日 生活扶助費削減反対に係る衆議院議員要請行動日(社会福祉専門職団体協議会)
- 3月1日 公明党 厚生労働部会・障がい者福祉委員会合同会議
- 3月2日 公益財団法人日本精神衛生会 メンタルヘルスの集い(第27回日本精神保健会議)
- 3月12日 特定非営利活動法人日本障害者協議会 理事会
- 3月15日 日本社会事業大学 平成24年度学位授与式
- 3月21日 ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 2012年度第2回社会福祉に関する政策研究会
- 3月28日 内閣府公益移行等委員会 公益移行認定書交付日